横浜市立 恩田小学校　　令和　2　年度版　中期学校経営方針　（ 令和 元 ～ 3 年度 ）

学校教育目標	『自ら学び　ともに豊かな生活を創り出す子どもの育成』 知 自ら問題を発見し課題解決に向けて主体的に考え、身に付けた知識や技能を生活に生かしはたらかせる子 徳 自ら正しい判断を行い、他者の立場や気持ちを思いやり尊重しあって生活する子 体 心身の健康に関心をもち、自ら進んで運動を継続的に行い、心身ともにたくましく生きる子 公 自分の役割や働くことの意義を理解し、地域や社会のために他者と協働しながら課題解決に向けて取り組む子 開 自他の違いを受け止めともに生きる力を育み、グローバルな視野をもって持続可能な社会の実現に向けて行動する子

学校概要					
創立　34　周年	学校長　　古屋　澄人	副校長　　齋藤　千枝	2　学期制	一般学級：16　　個別支援学級：2	
児童生徒数：　468　　人	主な関係校：奈良中学校　桂小学校　奈良小学校　田奈高校　日本体育大学				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
ESDを基盤とした資質・能力から 「批判的に考える力」 「多面的・総合的に考える力」 「コミュニケーションを行う力」 「他者と協働する力」 「進んで参加する態度」

中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
奈良中学校 恩田小学校 桂小学校 奈良小学校	・まちと関わり合いながら自ら学び、まちを大切にする子ども ・豊かなコミュニケーション能力をもつ子ども ・教職員の見学、授業交流を深め、中学校教育の理解を図る。（5・8月） ・中学校への児童の行事及び授業見学、小学校との体育及び部活動体験での交流を進めることにより、同じ地域に生きる子どもとしての意識を高めていく。（春・秋・冬） ・教務主任会、専任会での情報交換を確実に行い、情報共有に努めながら、ブロックとして進んでいく姿勢を確立する。

中期取組目標	
	○主体性・多様性・協働性を尊重し、授業・人・学びの場のつながりを大切にした学校づくりを目指します。 ・探究的な学びを通して、「わかる」「できる」を実感し、学んだことを日々の学びや生活の中で活用できるようにします。 ・家庭や地域と目標を共有し、連携することを通して、子どもが安心して生活できるようにします。 ・自分も他者も大切にし、人を思いやり協働しながらよりよく生きることができるようにします。 ・教職員が互いに連携しながらチーム力で課題を解決し、ワーク・ライフ・バランスを大切にして、生き生きと働くことができる

重点取組分野	担当	具体的取組
生きてはたらく知	研究・研修	①生活科・『横浜の時間』を中心として、地域の材を活用し子どもが自ら課題をみつけ、自分事として主体的に課題を解決できる力を育む。②協働的な学びを推進し、互いに情報を共有することで思考力・判断力・表現力を育てる。③習得した知識・技能を他の学びや実生活に活用できるようにする。
豊かな心	人権・福祉	①道徳の時間を要とした道徳教育の推進。②たてわり活動での異学年集団による様々な活動を通して、相手を思いやる気持ちを育てる。③自然体験などの体験的な活動を充実させ、自然から得られる感動や人とのつながりから得られる相手を尊重する態度、感謝の気持ちを育てる。
健やかな体	体育・体力向上	①給食を通して、食の大切さを理解しバランスのとれた食生活について理解する。②体力向上に向けて、なわとびや鉄棒運動等年間を通して楽しみながら取り組める運動を取り入れる。③交通安全教室・避難訓練等を通して、安全を自ら守るという視点から、正しい判断ができるようにする。
児童指導・理解	児童指導	①児童支援専任、特別支援コーディネーターとの情報の共有と迅速な対応を心掛ける。②恩田小スタンダードの年度ごとの見直し、全体での共有、実践を確実に行う。③毎月「安心・安全のアンケート」を実施し、児童理解に努め、安心・安全な生活環境を整える。
特別支援教育	特別支援教育	①学習支援員、AT等の人的環境の整備に力を入れ、個に応じた対応ができる環境づくりを行う。②市教委をはじめとする外部機関に積極的に働きかけ、児童によりよい指導、支援が行えるよう取り組んでいく。③一般学級と個別支援学級との交流を充実させ、インクルーシブな授業を推進する。
地域連携	地域連携・環境・キャリア	①地域コーディネーターを通して、地域の材を開発し、地域の人材や保護者にキャリア・環境・福祉・プログラミング教育等に積極的に参画できるようにする。②学校説明会や「まち懇」で学校の取組を発信し、協議の中で得た意見をもとにし、社会にひらかれた教育課程を編成する。
SDGsに向けての取組	ESD推進	①委員会活動でSDGsの17の目標の中で、3・6・7・14・15の達成に向けて取り組む。②生活科・「横浜の時間」を通してSDGsとの関連を意識した単元づくりを行う。③各教科等で関連する17の目標を、年間指導計画に明示する。
a15		b8
いじめへの対応	いじめ防止対策	①日々の児童理解に努め、・いじめは絶対しない・友達を一人ぼっちにしない・いじめられている友達を助ける。を徹底する。②月1回、児童に「安心・安全アンケート」を実施し実態把握を確実に行い、いじめが予見される場合は、専任を中心とした組織で迅速に対応し、SC等と連携を図りながら支援にあたる。
人材育成・組織運営（働き方改革）	人材育成・働き方	①メンター研修の充実に向け、ミドルリーダーが中心となって月に1回の研修会をもち、教師力の向上を目指す。②主幹教諭を中心とした組織を編成し業務を明確にし、責任をもって学校運営を進めることができるようにする。③ICTを活用し、情報の共有化、会議の効率化を図る。④行事のスリム化、業務の外部委託を推進し働き方改革につなげる。